

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※ 専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大原和服専門学園
設置者名	学校法人大原学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
家政専門	和裁科	夜・通信	515 単位時間	160単位時間	
家政専門	和裁研究科	夜・通信	515 単位時間	320単位時間	
家政専門	和裁専攻科	夜・通信	798 単位時間	80単位時間	
家政専門	着物染織科	夜・通信	553 単位時間	240単位時間	
家政専門	着物工芸科		553 単位時間	160単位時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

当学園のHP内の情報公開ページにて公表する。 https://www.ohhara.ac.jp/about/disclosure.php

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の1－②関係【実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》】

学校名	大原和服専門学園
設置者名	学校法人大原学園

学科名	和裁科		
	実務経験のある教員等による授業科目名	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数
	着装Ⅰ	25 単位時間	160単位時間
	和裁実習 基本製作・製作実習Ⅰ	490 単位時間	
		単位時間	
		単位時間	
		単位時間	
		単位時間	
		単位時間	
		単位時間	
		単位時間	
		単位時間	
		単位時間	
		単位時間	
		単位時間	
		単位時間	
		単位時間	
	単位数又は授業時数の合計	515 単位時間	

学科名	和裁研究科		
実務経験のある教員等による授業科目名		実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数
着 装 I		25 単位時間	320単位時間
和裁実習 基本製作・製作実習 I		490 単位時間	
		単位時間	
		単位時間	
		単位時間	
		単位時間	
		単位時間	
		単位時間	
		単位時間	
		単位時間	
		単位時間	
		単位時間	
		単位時間	
		単位時間	
		単位時間	
		単位時間	
単位数又は授業時数の合計		515 単位時間	

学科名	和裁専攻科		
実務経験のある教員等による授業科目名	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	
和裁実習 課題製作・実習	778 単位時間	80単位時間	
着装	20 単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
単位数又は授業時数の合計		798 単位時間	

学科名	着物染織科		
実務経験のある教員等による授業科目名	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	
着装 I	25 単位時間	240単位時間	
グラフィックツール実習 I	110 単位時間		
織物実習 織物理論・実習 I	418 単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
単位数又は授業時数の合計	553 単位時間		

学科名	着物工芸科		
実務経験のある教員等による授業科目名	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	
着装Ⅰ	25 単位時間	160単位時間	
グラフィックツール実習Ⅰ	110 単位時間		
織物実習 織物理論・実習Ⅰ	418 単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
単位数又は授業時数の合計	553 単位時間		

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大原和服専門学園
設置者名	学校法人大原学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	京友禅伝統工芸士	2025. 6. 27 ~ 2029. 6. 26	着物業界で京友禅伝統工芸士として培ってきた見識で着物の学校運営に対して提言や助言を期待している。
非常勤	呉服小売りメーカー 代表取締役	2025. 6. 27 ~ 2029. 6. 26	着物業界で織物メーカー兼小売業を営し培ってきた見識で着物の学校運営に対して提言や助言を期待している。
非常勤	一般社団法人 理事長	2025. 6. 27 ~ 2029. 6. 26	着物業界で着付け免許を発行する団体を運営し培ってきた見識で着物の学校運営に対して提言や助言を期待している。
(備考)			

大学等の設置者の理事（役員）名簿

学校名	大原和服専門学園
設置者名	学校法人大原学園

役職	氏名	学外者
理事長	大原 敏敬	
副理事長	大原 健嗣	
理事	吉田 季世子	
理事	黒島 敏	○
理事	中川 博文	○
理事	熊谷 範子	○

※学外者の理事については、学外者欄に ○ を記入してください。

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大原和服専門学園
設置者名	学校法人大原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 教育理念「裁心縫と一生一貫を体現した物心両面にわたり豊かな人生を歩むことができる人材を育成する。」と教育目標及び教育課程編成委員会の提案を踏まえて、教育課程の編成の改善を行い、毎年度始期までに授業科目ごとの特性をふまえて、各担当教員が授業目的・授業時間数と評価の観点をもとめた授業計画書を作成する。授業計画書は、各科目の授業日初日に学生に配布し、毎年度8月末日までに当学園のHPで公表する。	
授業計画書の公表方法	https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 成績評価は、授業科目ごとの特性をふまえて、授業計画書に記載した出席状況・学習姿勢・課題提出・試験などの評価項目に基づき100点満点で算出し評価を行う。A・B・C・D・不可で評価し、A(100～90) B(89～80) C(79～70) D(69～60)を可とし、(59～)は不可とし再履修とする。忌引きや病欠などの正当な理由により試験等が受験できなかった場合は、追試験を実施する。また、提出課題が成績評価基準に満たない場合や課題提出点数が満たない場合は、補講などにより課題の再提出を行う。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 各科目のA～Dの評価 (Aは5点・Bは4点・Cは3点・Dは2点) と各科目の授業時間数をかけて合計し、総授業時間数で割って評点を算出をする。これをもとに成績分布状況を把握する。なおこの成績の算出方法は、当学園のHP内情報公開ページにて公表する。	
客観的な指標の算出方法の公表方法		https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 大原和服専門学園 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき全学生の成績状況を踏まえて毎年度12月と2月に卒業進級判定会議を行い卒業進級を学務部全体で審議し、学園長が認定をする。 ■大原和服専門学園・卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）学科共通 ○卒業の認定方針 本学園の教育理念「裁心縫と一生一貫を体現した物心両面にわたり豊かな人生を歩むことができる人材を育成する」および教育目標の達成に向けて、各学科の所定の科目を履修し、下記に定める卒業の要件を満たすことにより卒業を認定する。 (1) 長い歴史のある着物の技術を継承できる知識と技術を修得している。 (2) 時代の要請に対応できる柔軟性と実践力を持ち、関係する人々と協働することができる。 (3) 一般の人に対して、着物についてわかりやすく伝えることができる。 (4) 絶えず向上心をもって主体的に学び自己の研鑽に励むことができる。 (5) 他者を思いやる豊かな人間性を磨き、与えられた役割を責任感を持って取り組むことができる。 ○卒業の要件 ・各学科の教育課程に定められた科目を修了し、総合評価がC以上であること。 ・欠席日数が年間総授業日数の4分の1を超えていないこと。 ○卒業の認定 ・卒業の要件を満たしているかは、卒業進級判定会議にて審議し、学園長が認定する。 卒業の認定に関する方針は、当学園のHPにて公開をしている。	
卒業の認定に関する方針の公表方法		https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※ 専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大原和服専門学校
設置者名	学校法人大原学園

1. 財務諸表等

財務諸表等		公表方法
貸借対照表	https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php	
収支計算書又は損益計算書	https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php	
財産目録	https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php	
事業報告書	https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php	
監事による監査報告（書）	https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
服飾・家政	家政専門	和裁科	○				
修業年限	昼夜	開設している授業の種類					
2年	昼間	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 3, 157	講義	演習	実習	実験	実技
			139	0	3, 018	0	0
			単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
			単位時間				3157 単位時間
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	3人	0人	3人	10人	13人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

教育理念「裁心縫と一生一貫を体現した物心両面にわたり豊かな人生を歩むことができ
る人材を育成する。」と教育目標及び教育課程編成委員会の提案を踏まえて、教育課程
の編成の改善を行い、毎年度始期までに授業科目ごとの特性をふまえて、各担当教員が
授業目的・授業時間数と評価の観点をもとめた授業計画書を作成する。授業計画書は、
各科目の授業日初日に学生に配布し、毎年度8月末日までに当学園のHPで公表する。

成績評価の基準・方法

（概要）

成績評価は、授業科目ごとの特性をふまえて、授業計画書に記載した出席状況・学習姿
勢・課題提出・試験などの評価項目に基づき100点満点で算出し評価を行う。A・B・
C・D・不可で評価し、A（100～90）B（89～80）C（79～70）D（69～6
0）を可とし、（59～）は不可とし再履修とする。忌引きや病欠などの正当な理由に
より試験等が受験できなかった場合は、追試験を実施する。また、提出課題が成績評価
基準に満たない場合や課題提出点数が満たない場合は、補講などにより課題の再提出を
行う。

卒業・進級の認定基準

(概要)

大原和服専門学園 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき全学生の成績状況を踏まえて毎年度12月と2月に卒業進級判定会議を行い卒業進級を学務部全体で審議し、学園長が認定をする。

■大原和服専門学園・卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）学科共通

○卒業の認定方針

本学園の教育理念「裁心縫と一生一貫を体現した物心両面にわたり豊かな人生を歩むことができる人材を育成する」および教育目標の達成に向けて、各学科の所定の科目を履修し、下記に定める卒業の要件を満たすことにより卒業を認定する。

(1) 長い歴史のある着物の技術の継承できる知識と技術を修得している。
(2) 時代の要請に対応できる柔軟性と実践力を持ち、関係する人々と協働することができる。

(3) 一般の人に対して、着物についてわかりやすく伝えることができる。

(4) 絶えず向上心をもって主体的に学び自己の研鑽に励むことができる。

(5) 他者を思いやる豊かな人間性を磨き、与えられた役割を責任感を持って取り組むことができる。

○卒業の要件

・各学科の教育課程に定められた科目を修了し、総合評価がC以上であること。

・欠席日数が年間総授業日数の4分の1を超えていないこと。

○卒業の認定

・卒業の要件を満たしているかは、卒業進級判定会議にて審議し、学園長が認定する。卒業の認定に関する方針は、当学園のHPにて公開をしている。

学修支援等

(概要)

教材支給制度・研究助成金

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）					
卒業生数	進学者数		就職者数 (自営業を含む。)		その他
	1人 (100%)	1人 (100.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	
(主な就職、業界等)					
昨年度実績なし					
(就職指導内容)					
キャリアガイダンスにより就職進路の流れを指導し、最終学年の学生には、個別進路指導を適時おこない、就職担当者及び担任、講師と連携しながら学生の希望とスキル等を加味して進路決定まですすめている。学生の希望が学園の求人票にない場合でも学園のネットワークを利用し求人への掘り起こしも行っている。					
(主な学修成果（資格・検定等）)					
(国) 和裁技能士3級・和裁技術検定初・中級・きもの文化検定・色彩検定・服飾准教員					
(備考)（任意記載事項）					

中途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数		中退率
1人	0人		0.0%
(中途退学の主な理由)			
昨年度実績なし			
(中退防止・中退者支援のための取組)			
出席状況や学習状況で問題がある学生については、保護者とも連絡をとり相談をしながら対応をしている。また、学習障害や精神的な課題を抱える学生については、専門機関や病院で定期的に診察してもらうなど学生生活と病気の克服の両立をはかり、難しい場合は休学等案内し、回復してから復学するように指導をしている。			

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政	家政専門	和裁研究科		○		
修業年限	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		開設している授業の種類			
4年	6,363	講義	演習	実習	実験	実技
		167	0	6,196	0	0
		単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
		6363 単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
220人	6人	0人	3人	11人	14人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

教育理念「裁心縫と一生一貫を体現した物心両面にわたり豊かな人生を歩むことができ
る人材を育成する。」と教育目標及び教育課程編成委員会の提案を踏まえて、教育課程
の編成の改善を行い、毎年度始期までに授業科目ごとの特性をふまえて、各担当教員が
授業目的・授業時間数と評価の観点をもとめた授業計画書を作成する。授業計画書は、
各科目の授業日初日に学生に配布し、毎年度8月末日までに当学園のHPで公表する。

成績評価の基準・方法

（概要）

成績評価は、授業科目ごとの特性をふまえて、授業計画書に記載した出席状況・学習姿
勢・課題提出・試験などの評価項目に基づき100点満点で算出し評価を行う。A・B・
C・D・不可で評価し、A（100～90）B（89～80）C（79～70）D（69～6
0）を可とし、（59～）は不可とし再履修とする。忌引きや病欠などの正当な理由に
より試験等が受験できなかった場合は、追試験を実施する。また、提出課題が成績評価
基準に満たない場合や課題提出点数が満たない場合は、補講などにより課題の再提出を
行う。

卒業・進級の認定基準

（概要）

大原和服専門学園 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき全学生
の成績状況を踏まえて毎年度12月と2月に卒業進級判定会議を行い卒業進級を学務部
全体で審議し、学園長が認定をする。

■大原和服専門学園・卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー） 学科共通

○卒業の認定方針

本学園の教育理念「裁心縫と一生一貫を体現した物心両面にわたり豊かな人生を歩む
ことができる人材を育成する」および教育目標の達成に向けて、各学科の所定の科目を
履修し、下記に定める卒業の要件を満たすことにより卒業を認定する。

（1）長い歴史のある着物の技術を継承でききる知識と技術を修得している。
（2）時代の要請に対応できる柔軟性と実践力を持ち、関係する人々と協働することが
できる。

（3）一般の人に対して、着物についてわかりやすく伝えることができる。

（4）絶えず向上心をもって主体的に学び自己の研鑽に励むことができる。

（5）他者を思いやる豊かな人間性を磨き、与えられた役割を責任感を持って取り組む
ことができる。

○卒業の要件

・各学科の教育課程に定められた科目を修了し、総合評価がC以上であること。

・欠席日数が年間総授業日数の4分の1を超えていないこと。

○卒業の認定

・卒業の要件を満たしているかは、卒業進級判定会議にて審議し、学園長が認定する。

卒業の認定に関する方針は、当学園のHPにて公開をしている。

学修支援等

（概要）

教材支給制度・研究助成金

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）				
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）		
		その他	その他	その他
0人 (100%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等)				
昨年度実績なし				
(就職指導内容)				
キャリアガイダンスにより就職進路の決めるまでの流れを指導し、最終学年の学生には、個別進路指導を適時おこない、就職担当者及び担任、講師と連携しながら学生の希望とスキル等を加味して進路決定まですすめている。学生の希望が学園の求人票にない場合でも学園のネットワークを利用し求人への掘り起こしも行っている。				
(主な学修成果（資格・検定等）)				
和裁士・（国）和裁技能士3級・2級・（国）着付け技能士2級・職業訓練指導員免許（和裁）・職業和裁技能検定2級・1級きもの講師・和裁検定初・中・上級・服飾准教員・3級服飾教員				
(備考)（任意記載事項）				

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6人	3人	50.0%
(中途退学の主な理由)		
体調不良、成績不振		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
出席状況や学習状況で問題がある学生については、保護者とも連絡をとり相談をしながら対応をしている。また、学習障害や精神的な課題を抱える学生については、専門機関や病院で定期的に診察してもらうなど学生生活と病気の克服の両立をはかり、難しい場合は休学等案内し、回復してから復学するように指導をしている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
服飾・家政	家政専門	和裁専攻科		
修業年限	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
		講義	実習	実技
		18 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
1年	1,578		1,560 単位時間	0 単位時間

単位時間				1578 単位時間			
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人	1人	0人	3人	1人	4人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

教育理念「裁心縫と一生一貫を体現した物心両面にわたり豊かな人生を歩むことができる人材を育成する。」と教育目標及び教育課程編成委員会の提案を踏まえて、教育課程の編成の改善を行い、毎年度始期までに授業科目ごとの特性をふまえて、各担当教員が授業目的・授業時間数と評価の観点をもとめた授業計画書を作成する。授業計画書は、各科目の授業日初日に学生に配布し、毎年度8月末日までに当学園のHPで公表する。

成績評価の基準・方法

（概要）

成績評価は、授業科目ごとの特性をふまえて、授業計画書に記載した出席状況・学習姿勢・課題提出・試験などの評価項目に基づき100点満点で算出し評価を行う。A・B・C・D・不可で評価し、A（100～90）B（89～80）C（79～70）D（69～60）を可とし、（59～）は不可とし再履修とする。忌引きや病欠などの正当な理由により試験等が受験できなかった場合は、追試験を実施する。また、提出課題が成績評価基準に満たない場合や課題提出点数が満たない場合は、補講などにより課題の再提出を行う。

卒業・進級の認定基準

（概要）

大原和服専門学園 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき全学生の成績状況を踏まえて毎年度12月と2月に卒業進級判定会議を行い卒業進級を学務部全体で審議し、学園長が認定をする。

■大原和服専門学園・卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー） 学科共通

○卒業の認定方針

本学園の教育理念「裁心縫と一生一貫を体現した物心両面にわたり豊かな人生を歩むことができる人材を育成する」および教育目標の達成に向けて、各学科の所定の科目を履修し、下記に定める卒業の要件を満たすことにより卒業を認定する。

（1）長い歴史のある着物の技術を継承できる知識と技術を修得している。
（2）時代の要請に対応できる柔軟性と実践力を持ち、関係する人々と協働することができる。

（3）一般の人に対して、着物についてわかりやすく伝えることができる。

（4）絶えず向上心をもって主体的に学び自己の研鑽に励むことができる。

（5）他者を思いやる豊かな人間性を磨き、与えられた役割を責任感を持って取り組むことができる。

○卒業の要件

・各学科の教育課程に定められた科目を修了し、総合評価がC以上であること。

・欠席日数が年間総授業日数の4分の1を超えていないこと。

○卒業の認定

・卒業の要件を満たしているかは、卒業進級判定会議にて審議し、学園長が認定する。

卒業の認定に関する方針は、当学園のHPにて公開をしている。

学修支援等

（概要）

教材支給制度・研究助成金

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	
		その他	
2人 (100%)	0人 (0.0%)	2人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) (株)丸上、(株)大原商店 着物、和装ブライダル、法衣装束、時代衣裳舞台衣裳、和装小物などの分野に就職。主にものづくりに関わる職種に就いている。 (就職指導内容) キャリアガイダンスにより就職進路の決めるまでの流れを指導し、最終学年の学生には、個別進路指導を適時おこない、就職担当者及び担任、講師と連携しながら学生の希望とスキル等を加味して進路決定まですすめている。学生の希望が学園の求人票にない場合でも学園のネットワークを利用して求人への掘り起こしも行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) (国)和裁技能士2級・(国)着付け技能士2級・2級きもの講師・和裁検定上級・3級服飾教員			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2人	1人	50.0%
(中途退学の主な理由) 体調不良による出席日数の不足のため (中退防止・中退者支援のための取組) 出席状況や学習状況で問題がある学生については、保護者とも連絡をとり相談をしながら対応をしている。また、学習障害や精神的な課題を抱える学生については、専門機関や病院で定期的に診察してもらうなど学生生活と病気の克服の両立をはかり、難しい場合は休学等案内し、回復してから復学するように指導をしている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政	家政専門	着物染織科	○			
修業年限	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		開設している授業の種類			
3年	4,760	講義	演習	実習	実験	実技
		189 単位時間	0 単位時間	4,571 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
		単位時間				
		単位時間	4760 単位時間			

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
90人	7人	1人	1人	15人	16人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

教育理念「裁心縫と一生一貫を体現した物心両面にわたり豊かな人生を歩むことができ
る人材を育成する。」と教育目標及び教育課程編成委員会の提案を踏まえて、教育課程
の編成の改善を行い、毎年度始期までに授業科目ごとの特性をふまえて、各担当教員が
授業目的・授業時間数と評価の観点をもとめた授業計画書を作成する。授業計画書は、
各科目の授業日初日に学生に配布し、毎年度8月末日までに当学園のHPで公表する。

成績評価の基準・方法

（概要）

成績評価は、授業科目ごとの特性をふまえて、授業計画書に記載した出席状況・学習姿
勢・課題提出・試験などの評価項目に基づき100点満点で算出し評価を行う。A・B・
C・D・不可で評価し、A（100～90）B（89～80）C（79～70）D（69～6
0）を可とし、（59～）は不可とし再履修とする。忌引きや病欠などの正当な理由に
より試験等が受験できなかった場合は、追試験を実施する。また、提出課題が成績評価
基準に満たない場合や課題提出点数が満たない場合は、補講などにより課題の再提出を
行う。

卒業・進級の認定基準

（概要）

大原和服専門学園 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき全学生
の成績状況を踏まえて毎年度12月と2月に卒業進級判定会議を行い卒業進級を学務部
全体で審議し、学園長が認定をする。

学修支援等

（概要）

研究助成金

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4人 (100%)	0人 (0.0%)	3人 (75.0%)	1人 (25.0%)

（主な就職、業界等）

(有)大田呉服店、(株)石田愛商店、(株)染装
着物、和装ブライダル、法衣装束、時代衣裳舞台衣裳、和装小物などの分野に就職。主
に染や織等のものづくりに関わる職種についている。

（就職指導内容）

キャリアガイダンスにより就職進路の決めるまでの流れを指導し、最終学年の学生に
は、個別進路指導を適時おこない、就職担当者及び担任、講師と連携しながら学生の希
望とスキル等を加味して進路決定まですすめている。学生の希望が学園の求人票にない
場合でも学園のネットワークを利用し求人への掘り起こしも行っている

（主な学修成果（資格・検定等））

もの文化検定・色彩検定2級・和裁技術検定中級・3級きもの講師・(国)着付け技能士2級・服飾准教員	
(備考) (任意記載事項)	
その他、デザインコンテストやコンクールに出品	

中途退学の現状			
年度当初在学者数		年度の途中における退学者の数	中退率
10人		2人	20.0%
(中途退学の主な理由)			
体調不良による欠席のための学業不振のため			
(中退防止・中退者支援のための取組)			
出席状況や学習状況で問題がある学生については、保護者とも連絡をとり相談をしながら対応をしている。また、学習障害や精神的な課題を抱える学生については、専門機関や病院で定期的に診察してもらうなど学生生活と病気の克服の面立をはかり、難しい場合は休学等案内し、回復してから復学するように指導をしている。			

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政	家政専門	着物工芸科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
2年	昼間	3, 157	講義	実習	実験	実技
			157 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			0 単位時間			
			単位時間			3157 単位時間
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人	0人	0人	1人	12人	13人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要)	
教育理念「裁心縫と一生一貫を体現した物心両面にわたり豊かな人生を歩むことができ る人材を育成する。」と教育目標及び教育課程編成委員会の提案を踏まえて、教育課程 の編成の改善を行い、毎年度始期までに授業科目ごとの特性をふまえて、各担当教員が 授業目的・授業時間数と評価の観点をもとめた授業計画書を作成する。授業計画書は、 各科目の授業日初日に学生に配布し、毎年度8月末日までに当学園のHPで公表する。	
成績評価の基準・方法	
(概要)	

成績評価は、授業科目ごとの特性をふまえて、授業計画書に記載した出席状況・学習姿勢・課題提出・試験などの評価項目に基づき100点満点で算出し評価を行う。A・B・C・D・不可で評価し、A(100～90) B(89～80) C(79～70) D(69～60)を可とし、(59～)は不可とし再履修とする。忌引きや病欠などの正当な理由により試験等が受験できなかった場合は、追試験を実施する。また、提出課題が成績評価基準に満たない場合や課題提出点数が満たない場合は、補講などにより課題の再提出を行う。

卒業・進級の認定基準

(概要)

大原和服専門学園 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき全学生の成績状況を踏まえて毎年度12月と2月に卒業進級判定会議を行い卒業進級を学務部全体で審議し、学園長が認定をする。

■大原和服専門学園・卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）学科共通

○卒業の認定方針
本学園の教育理念「裁心縫と一生一貫を体現した物心両面にわたり豊かな人生を歩むことができる人材を育成する」および教育目標の達成に向けて、各学科の所定の科目を履修し、下記に定める卒業の要件を満たすことにより卒業を認定する。

- (1) 長い歴史のある着物の技術を継承できる知識と技術を修得している。
 - (2) 時代の要請に対応できる柔軟性と実践力を持ち、関係する人々と協働することができる。
 - (3) 一般の人に対して、着物についてわかりやすく伝えることができる。
 - (4) 絶えず向上心をもって主体的に学び自己の研鑽に励むことができる。
 - (5) 他者を思いやる豊かな人間性を磨き、与えられた役割を責任感を持って取り組みことができる。
- 卒業の要件
- ・各学科の教育課程に定められた科目を修了し、総合評価がC以上であること。
 - ・欠席日数が年間総授業日数の4分の1を超えていないこと。
- 卒業の認定
- ・卒業の要件を満たしているかは、卒業進級判定会議にて審議し、学園長が認定する。
- 卒業の認定に関する方針は、当学園のHPにて公開をしている。

学修支援等

(概要)

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等)			
昨年度実績なし			
(就職指導内容)			

キャリアガイダンスにより就職進路の決めるまでの流れを指導し、最終学年の学生には、個別進路指導を適時おこなない、就職担当者及び担任、講師と連携しながら学生の希望とスキル等を加味して進路決定まですすめている。学生の希望が学園の求人票にない場合でも学園のネットワークを利用し求人への掘り起こしも行っている。	
(主な学修成果 (資格・検定等))	
きもの文化検定・色彩検定 2 級・和裁技術検定初級・3 級きもの講師	
(備考) (任意記載事項)	
その他、デザインコンテストやコンクールに出品	

中途退学の現状			
年度当初在学者数		年度の途中における退学者の数	中退率
0人		0人	#DIV/0!
(中途退学の主な理由)			
なし			
(中退防止・中退者支援のための取組)			
出席状況や学習状況で問題がある学生については、保護者とも連絡をとり相談をしながら対応をしている。また、学習障害や精神的な課題を抱える学生については、専門機関や病院で定期的に診察してもらうなど学生生活と病気の克服の両立をはかり、難しい場合は休学等案内し、回復してから復学するように指導をしている。			

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
和裁科	120, 000円	816, 000円	88, 000円	
和裁研究科	120, 000円	816, 000円	88, 000円	
和裁専攻科	120, 000円	816, 000円	88, 000円	
着物染織科	120, 000円	960, 000円	120, 000円	
着物工芸科	120, 000円	960, 000円	120, 000円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学園教職員で構成する自己点検自己評価委員会の取りまとめた自己評価報告書をもとに、学校関係者評価委員会を行うことで、当学園に關係する学校関係者評価委員の多角的な意見をふまえて、より質の高い効果的な学園運営の改善に関する具体案をまとめ、学園の関係者に当学園の情報を開示し共有することで行うことを目指すとともに、学園の関わりを高める必要がある。その結果、当学園の社会での認知を拡げることにもあわせて目指していくことを学校関係者評価の基本方針とする。 ○学校関係者評価委員の選任区分 関係団体・企業委員、高等学校等委員、卒業生委員 ○評価項目 教育目標と本年度の重点目標の評価 ・教育理念・目的・育成人材像・学校運営 ・教育活動 ・多様な学生の受け入れ ・産業界との連携・就職・進路・学生支援 ・卒業生支援・連携・施設・設備 ・学生の募集と受入れ・財務・法令等の遵守 ・自己評価・学校関係者評価・情報公開・地域にひらかれた学校づくり		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
(一社) 日本和裁士会	2024. 7. 1 ~ 2026. 6. 30	関係団体・企業委員
奈良県職業能力開発協会	2024. 7. 1 ~ 2026. 6. 30	関係団体・企業委員
美芸学園高等専修学校	2024. 7. 1 ~ 2026. 6. 30	高等学校等委員
波衣庵	2024. 7. 1 ~ 2026. 6. 30	卒業生代表
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php		
第三者による学校評価（任意記載事項）		
なし		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
https://ohhara.ac.jp/